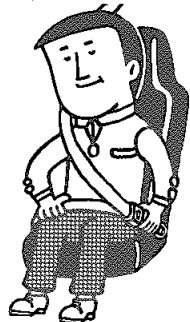


安全運転のために

★正しいドライビング・ポジションは急カーブや振動に対して身体がふらつかず、両手両足を敏速かつ、正確に動かせる姿勢です。
また前後の視界が十分確保でき、長距離運転にも疲れな姿勢であることも大切です。(シートの調整の項目参照)

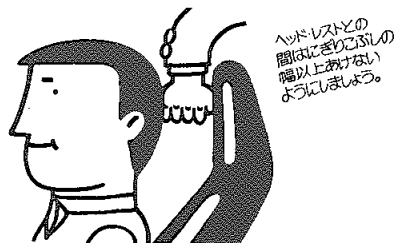


★シート・ベルトは必ず装着して運転しましょう。
腰ベルトは腰骨の位置にぴったりと装着しましょう。
(シート・ベルトを忘れずにの項目参照)

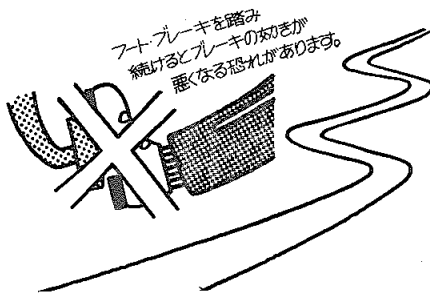


腹の位置にかけると万一のとき身体ににくいみ危険です。

★ヘッド・レストの位置はヘッド・レストを頭の後方の位置になるようにしましょう。正しい位置にしないと危険防止に役立ちません。(ヘッド・レストを正しい位置にの項目参照)

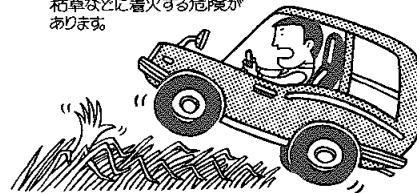


★長い坂道を下る場合はエンジン・ブレーキを活用しましょう。(ブレーキ、クラッチの使いかたの項目参照)



★駐停車するときには
1. 枯草など燃えやすいものの付近や上に車を乗り入れたたり、駐停車しないでください。

排気管付近はかなり高い温度になるので、万が一の場合、枯草などに着火する危険があります。



★注意

やむを得ず枯草などの中に入り込んで、駐停車する場合は

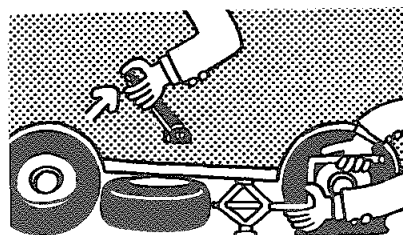
(1)エンジンを必ず止めてください。
(2)走行する前に枯草などの燃えやすいものが、排気管に巻き付いたりしていないか点検してください。

2. 車庫内に車を止めるときは排気管の後方に紙、布、ムシロ、油脂、樹脂製品、古タイヤなどの燃えやすいものを置かないでください。

また、木材、ベニヤ板などが後方にある場合は必ず車両後端から30cm以上離れていることを確認してください。排気ガスによって変色や変形したり着火する危険があります。

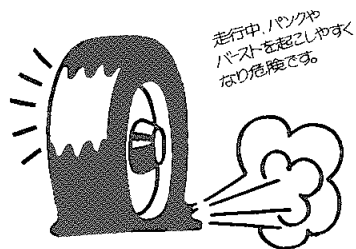
3. 密閉した車庫内などで、エンジンをかけたままにしないでください。

★ジャッキを使用するときには所定の位置に確実にセットしましょう。輪止め、パーキング・ブレーキを忘れずに。(パンクの処置の項目参照)



ジャッキがはずれると車が急に傾き大変危険です。

★タイヤは
1. 走行前に必ず空気圧を点検しましょう。(タイヤの空気圧の項目参照)
2. 摩耗して溝が浅くなったら取り替えましょう。(タイヤの溝の深さの項目参照)

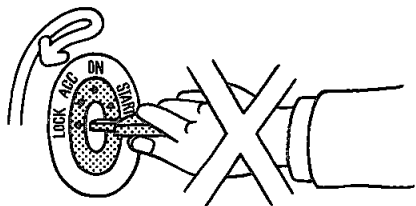


★走行中エンジン・スイッチを切らない
ください。

ブレーキ・ブースタが作用しないので、
ブレーキの効きが悪くなります。

★エンジンを停止して移動する場合は
(けん引される場合など)

1. エンジン・スイッチを一度ONにしてからACCの位置にしましょう。
(エンジン・スイッチの項目参照)



走行中はキーを絶対にロックの位置に
回さないでください。危険です。

2. ブレーキ・ブースターは作動しません
ので通常より大きな踏力が必要です。

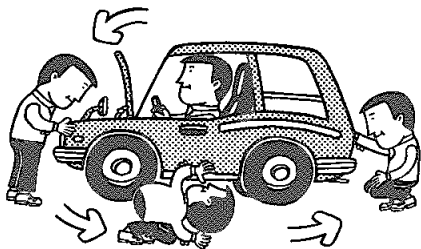
★適切な暖機運転をしましょう。

エンジンが冷えているときは、出力の低下、
走行性能の悪化など、車本来の性能が
十分に発揮できません。

暖機方法は“エンジンを始動するには”の
項を参照してください。

★仕業点検は

故障を未然に防ぐため、必ず行ないま
しょう。(仕業点検の項目参照)



★定期点検は

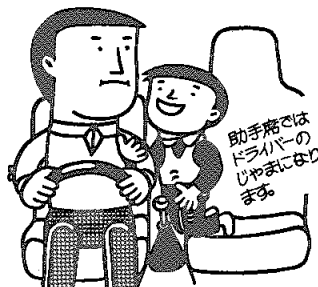
法令でも定められていますので整備手帳
に基づいて必ず行ないましょう。

車の性能を維持するため
大切なことです。

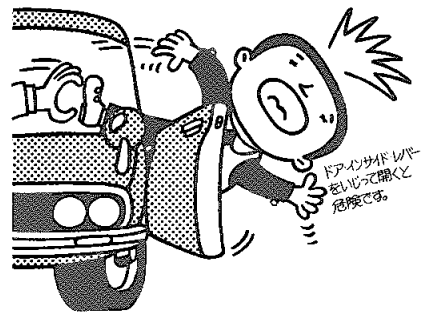


お子様を乗せる ときは

★なるべくおとなと一緒にリヤ・シート
にすわらせましょう。



★ドアのロックを確実にしましょう。

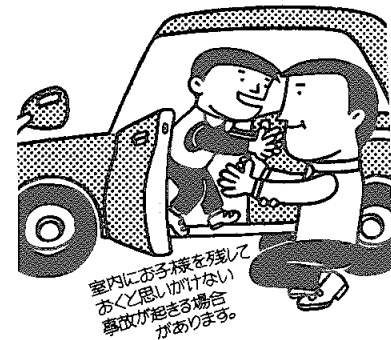


ロックをすれば、ドア・インサイド・ハンドル
をいじっても、ドアは開きません。

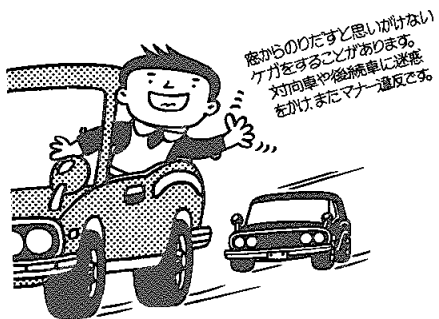
★必ずおとながドアの開閉をしましょう。



★車から離れるときは、お子様と一緒に
連れて行きましょう。



★窓から顔や手などを出させないように
しましょう。

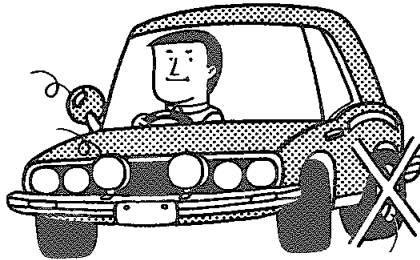


故障を防ぐために

★車に装着する部品は

車の構造に適した純正部品を使用しまし
ょう。

特に車の走行に関連するところにはメー
カーが運輸省に届出をした指定の部品以
外は使用しないでください。

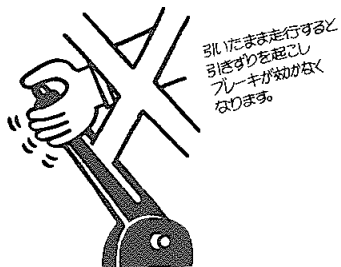


車の性能や機能に適しない部品を装着すると
思いがけない事故が発生する
場合があります。

★パーキング・ブレーキ・レバーは

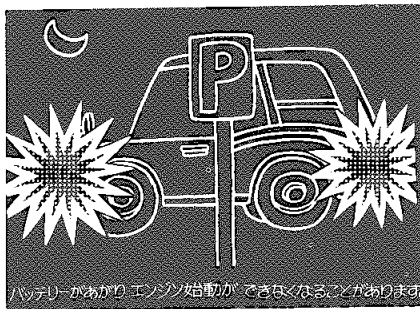
走行する前に必ず確実にもとの位置まで
もどし、ブレーキ・ウォーニング・ランプ
が消灯するのを確かめてください。

(パーキング・ブレーキ・レバーについての
項目参照)



★バッテリーは

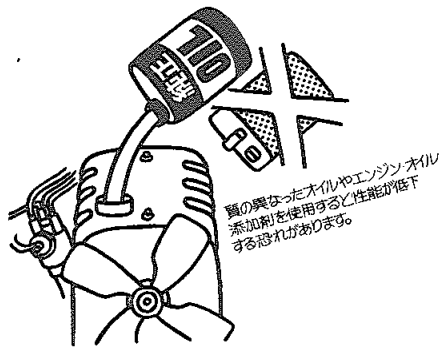
完全充電でもエンジンを停止してランプ
類を使用すると消耗が激しいものです。



★エンジン・オイルの補給は

同品質か、それ以上のオイルを使用しま
しょう。

(トヨタ純正キャッスル製品の項目参照)



★ブレーキ、クラッチ・フルードを補給 するときは

同品質、同銘柄のフルードを必ず使いま
しょう。なお、タンク内にゴミがはいらな
いように十分注意しましょう。

(トヨタ純正キャッスル製品の項目参照)



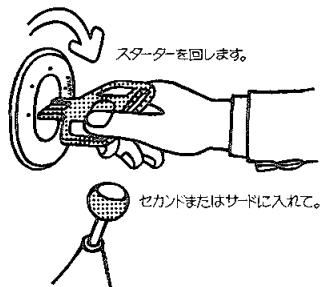
万一のときは——

★エンストして始動できなくなったときは

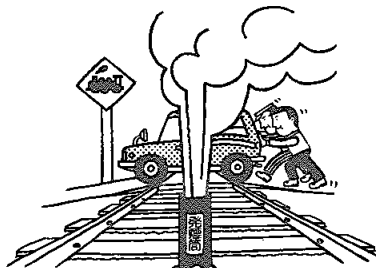
1. 付近に人がいる場合は安全な場所まで押してもらってください。



2. 踏み切りなどで、急を要するときは、スターターで抜け出してください。ギヤをセカンドまたはサードに入れ、スターターを回します。このときクラッチから足を離しておきます。また平坦路の場合は、トップにすると早く抜け出せます。



3. 踏み切りなどで抜け出せない時、列車が来そうになったら保安炎筒で合図してください。

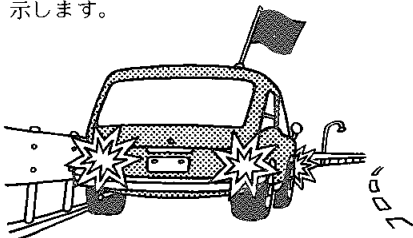


★高速走行中、パンクやバースト(タイヤの空気が急に抜けること)したとき

ハンドルをしっかりとって急ブレーキは踏まないようにしましょう。急ブレーキを踏むとハンドルを強くとられ、車が横転することがあります。

★故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプを点滅させるか、または故障車とわかるように赤旗などを目につくよう表示します。



★遠出して故障し、なおせないときは整備手帳のサービス網をご覧になって、最寄りの取り扱い販売店へ連絡しましょう。